

第5回鎌倉のごみ減量をすすめる会全体会の概要

日 時 平成24年10月9日(火) 18時30分～19時40分

場 所 鎌倉市役所 本庁舎全員協議会室

出席者 会員 10名

鎌倉市

石井環境部長、小池環境部次長兼ごみ減量・資源化推進担当担当課長
谷川資源循環課担当課長、松井ごみ減量・資源化推進担当担当主査
大高資源循環課担当、中川ごみ減量・資源化推進担当

配布資料

- ・次第
- ・資料 鎌人いち場出展協力依頼
- ・資料 鎌倉ごみ減量をすすめる会 副代表選出用エントリーシート

議 題

- 1 副代表選出
- 2 10月14日(日)「鎌人いち場-知る場(情報発信)」スタッフ募集(添付資料)
- 3 個別行動チーム今年度経過活動報告
 - ・生ごみ減量チーム
 - ・発生抑制チーム
 - ・広報チーム
- 4 イベント開催
- 5 その他

内 容

開会后、次第2を先に、以降次第順に、協議等を行った。

2 10月14日(日)「鎌人いち場-知る場(情報発信)」スタッフ募集(添付資料)

高田代表より、平成24年10月14日に開催される鎌人いち場に出展する会のブースの運営について、会員等へ参加依頼があった。

また、市より当日は市長が参加することから、11:30～12:00の間、鎌倉のごみ減量をすすめる会とともにごみについて話す機会を設ける予定であることの報告があった。

1 副代表選出

立候補者、推薦者、被推薦者がそれぞれ発言。副代表の選出を行った結果、副代表には鈴木昭正さんが選出された。また、複数の個別行動チームから選出されるよう、また、副代表が欠けてもその都度全体会を開催しなくてよいよう、副代表は若干名とすることで要綱改正を求めていくべきであるとの意見があった。

3 個別行動チーム今年度経過活動報告

- ・生ごみ減量チーム
- ・発生抑制チーム
- ・広報チーム

生ごみ減量チーム、発生抑制チーム及び広報チームの順に報告を行った。

(主な内容は次のとおり)

(1) 生ごみ減量チーム

運営委員は、秋山 健太郎さん、鈴木 昭正さん。

自治・町内会へのコンタクトとして、9月2日に星和城廻自治会で、市環境部による市の施策説明と生ごみ処理機の説明が行われたのに引き続いて、高田代表がごみ減量の知恵などのプレゼンを行い、出席者は市の施策に対しても鎌ごみに対しても好意的に対応していた旨の報告があった。

また、9月30日に開催された“大船 to 大船渡”では、イベント参加者に対してサンマ 1192 匹が振舞われた中で、生ごみ減量チームが残渣処理に協力。キャノン電子とスターエンジニアリングが自社の生ごみ処理機を持ち込み、生ごみ減量チームからボランティア 3 名が出てサンマの残渣及び他のごみの分別指導を行った。サンマの残渣のうち 2/3 は生ごみ処理機で、残りは小学校設置の生ごみ処理機で処理を行った。

市が条例に基づき減量化・資源化計画書を提出した多量排出事業者に対して行う聞き取りと現場確認に、鎌ごみの代表者が同行した。これまで同行を行った多量排出事業所は 10 月 4 日までで合計 19 事業所、今後も続行する。

5 月 10 日に行われた市長と鎌ごみのミーティングを契機にして、環境部と月次ベースでミーティングを行い、一般廃棄物ごみ処理基本計画の中の各重点項目について進捗や問題点について情報開示を受けている。

10 月 14 日に予定されている“鎌人いち場”への出展準備として、シールアンケートの準備を行っている旨の報告があった。

(2) 発生抑制チーム

運営委員は、宇治 牧子さん、瀬口 亮子さん。

鎌倉市内のスーパーにてレジ袋削減の手法と、その確認方法の調査を行っている旨の報告があった。調査結果については、10 月 14 日に予定されている“鎌人いち場”にて展示を行う。今後はスーパーへの取組みを促すアプローチを検討していく。また、10 月 18 日（木）に行われる神奈川県のリジ袋削減実行委員会に出席する。

また、エコな活動を行っている中小企業について、お店のエコスポット認定を行い、認定を受けたお店をホームページで紹介することもすすめていることの報告があった。

(3) 広報チーム

運営委員は、今村 雅美さん、角田 正俊さん。

ホームページの運営ほかFMかまくら等での高田代表のインタビュー放送の実施、市の発行する「鎌倉ごみ減量通信」9月号の紙面作成を実施した旨の報告があった。

4 イベント開催

日程は平成 25 年 2 月 4 日（月）とし、講師として安井潤一郎氏（株式会社稲毛屋会長 他要職多数）に依頼している旨の報告があった。

5 その他

特になし

以上